



# かけはし

大仙市立西仙北小学校 学校報 平成30年度 第44号 (2019. 2. 6)

「2月上旬の連携」を紹介します。

## 「大綱引きに関する活動体験」(5・6年生) 2月1日(金)

大綱の「綱よい体験」をしました。重い綱を何度も動かして大綱にしました。



綱を持ち上げて綱よいする「上町の大綱」



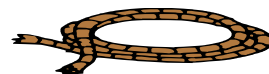
綱を転がして綱よいする「下町の大綱」

4年生が「ぐみ編み体験」をした綱を、今度は5・6年生が「綱よい」をしました。上町が中央公民館跡地で、下町がコミュニティーセンター前で行いました。時折吹雪く天気の中、西仙北中学校・西仙北高等学校の生徒と一緒に「綱よい」をしました。

上町と下町で「綱よいの仕方」が違うことを知りました。(校長談)

小学生・中学生・高校生そして地域の方々の連携で、どんどん大綱になっていきました。出来上がったとぐろ巻きの大綱が、「ぐみ編み」「綱よい」などの大変な作業をして作られていることを、子どもたちは体験活動を通してわかりました。

2月10日(日)午後9時の本番が、より待ち遠しくなりました。



## 「租税教室 ～税金はなぜ必要なの?～」(6年生) 2月5日(火)

大曲税務署の財務事務官さんから、「税」についてのお話をしていただき、考えました。



1億円は、重いなあ！

「税」の必要性について、しっかり考えました。

社会科で学習した後のお話でした。

キーワードは、「公平」だそうです。「税」は、みんなが直接公平に納める消費税や、家の大きさなどに対して負担を考える固定資産税のようなものがあるということを知りました。

(子どもたちからは、学校建築費が平均13億円だということに、驚きの声が上がりました。)

また、**実際の一億円(みほん)**を持たせてもらいました。

10kgあるそうです。

「税」は、とられるというイメージが強いものですが、すべての国民が豊かな生活を送ることができるようにするために、**みんなが出し合う思いやり「会費」**だというまとめでした。(今日本で「税」は50種類あるそうです。)

